

「アオバト」町の鳥制定記念

「大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地」神奈川県天然記念物指定15周年記念

企画展

大磯町の 海辺の自然



平成23年3月6日（日）～5月15日（日）

- 会期中の休館日 毎週月曜日(3月21日は開館・22日振替休館)、4月1日、5月6日
- 開館時間 午前9時～午後5時
- 入館料 無料
- 後援 神奈川県教育委員会

大磯町郷土資料館

大磯町の海辺の自然

大磯町は“大磯”という名のとおり、海が身近に感じられる町です。地名のもととなった大きな磯は姿を消し、照ヶ崎海岸の一部分を残すのみとなりましたが、磯ではいまだたくさんの生物を目にすることができます。中でも夏場、海水を飲むために集団で飛来するアオバトは全国的にみても飛来地は数少なく、大磯町の自然を代表する野鳥です。本種の生息地の保全のため、照ヶ崎海岸の岩礁は平成8年2月に神奈川県天然記念物に指定され、昨年11月、アオバトは“町の鳥”に制定されました。

照ヶ崎海岸以外の場所でも“町の花”であるハマヒルガオをはじめコウボウムギ、コウボウシバ、ハマボウフウといった海浜植物が町の中部から東部の沿岸にかけて広く分布しています。また、近年ではアカウミガメの産卵がたびたび確認されています。こうした海辺の自然の豊かさを標本、写真などを通して紹介しています。

楽しい海藻おしぼづくり

日 時：平成23年3月27日(日) ①午前10時～12時 ②午後1時30分～3時30分
 集合場所：大磯町郷土資料館 研修室
 内 容：海藻のカラフルな色彩、バラエティーに富んだ形に着目して、海藻おしぼのポストカード、しおりを制作します。
 講 師：当館主催「海の森クラブ」会員
 定 員：各回とも20名
 申 込 み：事前の申し込みが必要です。先着順で3月3日(木)から受付を開始します。



照ヶ崎の生き物観察

日 時：平成23年4月17日(日) 午前8時30分～11時
 集合場所：大磯町営照ヶ崎プール前
 内 容：磯の生物についての話しをうかがいながら、実物に触れ、生物の形や色などを観察します。
 講 師：福田良昭さん(相模貝類研究談話会 会長)
 定 員：30名
 申 込 み：事前の申し込みが必要です。先着順で4月5日(火)から受付を開始します。



野鳥を中心とした自然観察

日 時：平成23年4月23日(土) 午前9時～11時
 集合場所：大磯町営照ヶ崎プール前
 内 容：北浜海岸から照ヶ崎海岸にかけて自然散策をします。野鳥を中心に解説をします。
 講 師：こまたん
 定 員：30名
 申 込 み：事前の申し込みが必要です。先着順で4月5日(火)から受付を開始します。



企画展 関連 行事

インターネット
参加型

大磯オノマトペ生き物図鑑

大磯町郷土資料館のブログ「大磯町郷土資料館ノート」で『大磯オノマトペ生き物図鑑』を更新中です。オノマトペとは擬音語、擬態語という意味です。あまりなじみのない海の生き物でも印象を擬態語で表してみることで、グッと身近になります。皆さんはどんな擬態語を連想されますか?コメントをお待ちしています。(例: アメフラシ ぶよぶよびゅ)

大磯町郷土資料館ノート <http://scn-net.easymyweb.jp/member/oisomuseum/>



大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1
 TEL. 0463-61-4700 FAX. 0463-61-4660
<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/shisetsu/shiryoukan/index.html>

【表紙の写真】

- 上段左より アオサ類(飯田福信氏撮影)、アオバト(吉田敬一氏撮影)、アオウミウシ(飯田福信氏撮影)
- 下段左より アカウミガメ(佐川和裕氏撮影)、チュウシャクシギ(古田浩行氏撮影)、ハマヒルガオ(展示担当者撮影)

交通案内

- 電車を利用の方
 JR東海道線「大磯駅」から二宮駅・国府津駅・湘南大磯住宅行バスで「城山公園前」下車徒歩5分
- 車を利用の方
 小田原厚木道路 大磯ICより県道63号、国道1号經由5分
 西湘バイパス 大磯西ICより国道1号經由2分
 ◎ 県立大磯城山公園駐車場利用

